

みあさづくり

地域で願う無病息災



新行地区では、「おんべ」とは別に萱で小屋を造り子供たちはその中で遊ぶことを楽しみにしています。今年はコロナの影響で残念ながら小屋は造ることができず少し寂しくなりました。

それでも、大人の方と協力をしておんべを造ることができました。「おんべ」への点火は歳の大きい子

達の役目で、当日は天気が良く晴れわたった空とおんべの火のコントラストはとても綺麗でした。おきになったところで、持ち寄った餅やマシュマロを焼いて無病息災を願いながらおいしく食べました。これからも地域の行事を大切にしていきたいと思っています。（新行 重田あまな）

QRコードを読んでパソコンやスマホでもご覧ください。

ホームページ
美麻Wiki



facebook





おんべの思い出

《昭和60年代以前のこと》

写真 昭和63年美麻村村政要覧より

“おんべ”は道祖神の祭りでの子供の行事でした。西上・西下組と、中・上手・東組に分かれて、県道長野大町線を挟んで2か所で行っていました。6～7mの飾りの芯になる「おんべ竿」にカヤや藁で飾りをつけ先端には青い木で「幣束（へいそく）」を付け、3～4本の“おんべ”を造っていました。また、結

婚や子供が生まれると代々、縁起物として“おんべ”竿を1本地域へ寄付をする風習があったので、年ごとに本数は違います。“おんべ”が完成すると参加した子供たちは、他地区の“おんべ”に早く火をつけようと競争が始まり、賑やかなお祭りとなりました。

（新行 酒井周一郎）

まきだわら

旧中村家住宅で「巻き俵」

青具の重要文化財「旧中村家住宅」において1月5日(水)に「巻き俵」行事を行いました。この行事は、建築年代が明らかな民家として県内最古の旧中村家住宅（主屋）の建立から300年以上続いている伝統の年中行事です。茶の間の神棚前に吊るされた一対の巻き俵は、それぞれ直径50cm、高さ1.2mほどあります。

この日は、地域のボランティアさんに加え「ふるさとワーキングホリデー」で美麻に滞在中の山崎さん（大学生）も参加し、地区内で収穫された稲ワラを巻きつけながら形を整えていきました。

今年は新型コロナウイルスが流行した一昨年来のワラを大きく取り除いて、囲炉裏の火

で焚き上げて厄払いをしました。

少しスリムになった巻き俵に各種縁起物を飾りつけて吊るし、地域の繁栄と五穀豊穡を願いました。（大町市文化財センター）



地域の話題

源流からの鼓動2021～心～困難を乗り越え明るい未来へ（12/25）



今年度は新メンバーが沢山増えた為、練習量を増やしミーティングでチームワークを高めたり、演奏会に向けて準備を進めてきました。演奏会当日は上手く出来るか不安を抱えながらの演奏でしたが終了後、「凄かったよ、ありがとう。」と、とても笑顔で声を掛けて下さいました。私もメンバーと楽しく打つことが出来、とても良い演奏会になりました。お越し頂いた皆様ありがとうございました。来年度も応援よろしくお願ひします。

（源流美麻太鼓 安松三礼）

小さな足跡があるよ！（1月25日）

天気のいい日には、雪遊びを楽しんでいる子ども達。この日、土手を肥料袋で滑っていると一人の子が雪の上に続く小さな足跡を発見しました。「みんなで足跡をたどってみようよ！」と、ちびっこ探検隊が結成され、足跡の正体を探ることに。雪が積もったことで普段とは違った景色にワクワクとした表情を浮かべ、「上に足跡が続いているね～。」「木のてっぺんと（私の身長が）同じくらいだよ！」「葉っぱに氷がついている。」と冬の自然を存分に楽しんでいました。散策の途中の少し急な斜面も苦にもせず、手や足を上手に使い登っていました。途中、一人の子が尻すべりで斜面を滑ると、一分後には全員が



遊び始め探検隊はどこに行ったのか。給食になるまで全身で雪遊びを楽しんでいた子ども達でした。雪が解けるまでの冬限定の遊びですが、存分に楽しみ春を迎えたいです。

（保育士 中村優衣菜）



小雪2月2日、ひと足早く豆まきをしました。給食室から豆を炒った香ばしい匂いがしてきました。年齢ごとに作ったおめんとマスを見せ合い、豆まきクイズの紙芝居を見ました。「鬼っていったい何なの？」

「豆まきのかけ声は？」など、一生懸命考えて答えていました。自分の心の中にはどんな鬼がいるかを考え、その鬼とコロナ鬼をやっつけることにしました。鬼役の年長さんは金棒を持ち、「うおー！ちびっこには負けないぞー！」と気合十分。年中年少さんは一生懸命、鬼に豆を投げつけますが、なかなか参ってくれない年長さんでした。鬼にテラスまで来られてしまいましたが、何とかやっつけました。年中年少さんも交代して鬼役をやってみました。年中年少さんは静かで優しい鬼でしたが、鬼の親分（中村優衣菜先生）に連れていかれそうになり、みんなで友だちを助けようと必死でした。元気いっぱい悪い鬼を追い出すことができました。（園長 北村 幸）

.....
 コミュニティ・スクールの話題

クロススキー遠足 (1年生)



前日に新雪が降り、滑ると雪煙が上がるようなコンディションの中、クロススキー遠足に行ってきました。天候も回復し、空を見上げると青空が広がり、本当に気持ちの良い日

になりました。

子ども達も、果敢に急斜面に挑戦し、転倒しては、雪まみれになっていました。また、登行の仕方もととても上手になり、スイスイ上れるようになりました。

林間コースはとても長いコースで、目的地に着くとフラフラの子もいました。しかし、おやつタイムで飴をなめるとすっかり元気になりました。最後は学校目指して坂道を登っていきましたが、疲れていても自力で学校まで戻ってくることができました。精神的にもたくましくなってきたことを感じました。

(文責：1年担任 松澤 享)

冬ランドをつくろう！

2年生は「冬ランドをつくりたい！」との言葉から、雪を使って何をつくるかについての話し合いが始まりました。すべりだいの下にかまくらをつくりたいという意見について、かまくらが壊れて下に人がいたら危ないと考え、かまくらとすべり台を分けて作る案が生まれました。その後も、冬ランドの設計図づくりや模型づくりなど、雪が降るまでの間にやってみたいことを話しました。子供たちは雪が降り積もると、かまくらづくりやおしりすべりをはじめます。かまくらづくりでは、はじめは上から穴を掘っていましたが、「上から穴を掘ると体がはまっ

てしまう」といって穴をうめ、横から掘ることにしました。また、お池に行ってみると、お池がなくなっただのかと思うほど雪が積もっていました。足で掘り進めてみると、だんだんと水が見えてきました。お池が変わらずにあることを確かめて安心した様子でした。



(文責：2年担任 西澤沙織)

わらの屋根ってすごい！

3年生が取り組んでいる小屋作り続報です！年末に屋根の一部が藁ぶきになりました。屋根がつくと一気に小屋らしさが増して、子どもたちも「わぁいいねえ！」「小屋っほい！」と自然と歓声が上がりました。

年明け、大雪で「もしかしたら雪の重みで倒れているかも・・・」と心配しましたが、僕らの小屋は1m以上の積雪にも耐えしっかりと立っていました。藁葺も頑丈にあみこんだおかげでバラけることなく屋根としての役割を果たしていて、先人から受け継がれてきた技術のすごさに改めて驚かされる子どもたちでした。現在は屋根づくりと雪壁づくりを並行して進めています。完成まで後もう少しです！（3年生担任 藤巻智哉）



.....
 コミュニティ・スターの話題

いよいよお別れ 4年生のやぎさん

子どもたちは、寒さに負けず毎日お世話をしています。Hさんが一人でエサ箱をスノーダンプの上ののせて押してきました。柵の入り口まで来ると柵の中にいたKさんが自然と手を出しました。Hさんは「ありがとう」と言ってエサ箱を渡しました。

こういう姿が日常的に見られるようになり、毎日のお世話を繰り返してきて、自然と身につけた優しさなのだと思います。何も言わなくても友だちがしてほしいことが分かる子どもたち。すばらしい協力の姿を見られてうれしい気持ちになりました。

約2年間一緒に過ごしてきたやぎさんと、いよいよお別れとなります。5頭のやぎさんは、誕生や死、協力のすばらしさなど、4年



生に多くのことを教えてくれました。

地域の方々には、エサやワラをはじめ多くのご支援をいただきました。地域の方々に支えられて、この学習を進めることができたと思います。本当にありがとうございました。

(4年担任 野本和幸)

米粉入りおやきづくり！ ちょうどよい米粉の量は？



3学期に入り収穫したもち米を使って米粉を作ってみました。総合の時間におやきの追究をしている中で、「収穫したもち米

を米粉にして、おやきにしたらどうかな」という子どもたちのアイデアがきっかけです。一晩もち米を水につけて膨らませてから水気を取り、ミルサーで米粉を作ってみました。1回目は、水気が多かったせいか、うまくいきませんでした。2回目はよく乾燥させ、もう一度ミルサーをかけてみると…きれいな米粉ができました！「触った感じが気持ちいいね」「にぎるとかたまるよ」と子どもたちはさわり心地に興味津々でした。

コロナ感染症拡大のため、学校で調理することが出来ないで、それぞれが家庭に持ち帰って作り学校で情報を共有することにしました。米粉のおやきを作るには、何グラムを米粉にすれば良いのでしょうか。ちょうど良い量を探っていきたいと思います。(5年担任 矢口秀幸)

作ろう 遊ぼう 学ぼう もっといかそう美麻の自然

6年生は、みんなで何をしたいか話し合い、大きく2つにまとめて活動してきました。

ザ・木で遊ぶグループは、森をきれいに、楽しい場所にするのが目的です。仲間と協力して、ブランコ、ターザンロープ、などを、森の木や拾った材料を利用して作りました。自然のもので作るのは知恵や工夫が必要で、木は大切な材料だということが分かりました。

美麻メイキンググループは、美麻でできることを知ってもらいたいというのが目的です。ベランダ菜園では、トマト、アップルメロン、パイナップルメロン、古代米、スイカを育てましたが、古代米以外は育ちませんでした。釣りでは、金熊川で岩魚のメスが2ひき釣れました。美麻の木を使った食器作りにも挑戦しました。作った食器はお皿、スプーン、お箸です。もっとたくさんの食器を作り、育てた野菜などを食べたりしたいと思いました。

(文責：6年担任
 志水宏靖)



地域の皆様ありがとうございました。



私たち9年生が運営する花MAME株式会社は、今年「うちの花豆つなぐれ美麻」という目標のもと、地域の方々にアドバイスをいただきながら、活動を行ってきました。新型コロナウイルスの影響で、今年もイベント参加は叶いませんでしたが、たくさんの人とつ

ながり、様々なことを享受できました。また、様々な場での発表やPR活動を行い、テレビなどでも取り上げてもらい、とても活発な一年だったと思います。今までの活動の集大成となる花豆BOOKには、私達が研究した栽培方法や、地域の方々に教えてもらった新しい花豆レシピなど、たくさんのお花豆に関する情報が載っています。

地域の色々な所に置く予定ですのでぜひご覧ください。最後になりましたが、協力していただいた地域の皆様方の支えがあったからこそ、ここまでやってこれることができました。社員を代表して御礼申し上げます。本当にありがとうございました。（社長 阿久津幸太）

◎みあさひろばづくり隊！

8年生は『みあさひろばづくり隊！』をテーマに、4つのグループに分かれて活動してきました。空き家や美遊など、今美麻にある場を、自分たちのアイデアを活かしてよりよくバージョンアップしたり活用する方法を考えたりして、地域の皆さんが集う場・地域の皆さんに還元できるような場をつくりたいと考えています。

来年は、グループごとに進めてきた活動を“美遊”に集合させ、ワークショップなどのイベントを計画しながら、実際に地域の皆さんが集うことのできる場のあり方を模索していきたいです。例えば！美遊活用のアイデア集め・提案、美麻の絶景を集めた写真展、美麻の野草を使ったご飯のおとも作りなどの

プロジェクトが進行中です。その他にも、地域の皆さんのアイデアや思いをうかがって活動できたらと思っています。

（8年担任 村田 茜）



今年の市民科をまとめてパネルやカレンダーに!! 7年生

市民科の授業（1月28日）で、例年のお世話になっている、湘南工科大学の禹先生にパネル作成についてZoomで教えていただき、アドバイスをいただきました。今年度の市民科のまとめとしてパネルに残し、カレンダーにも載せたいと考えています。「美麻の宝の

地図」→「美麻で宝探し」（イベント）を企画して、美麻の人が交流を深めたり、美麻の外からたくさん人がきて、美麻のよさを知ってくれたり、移住を考えてくれたらという想いで活動してきたことを残したいと考えています。

（7年担任 小山保男）

成人式おめでとうございます

新型コロナ・ウイルス感染拡大の影響により、延期となっていた令和2年度、令和3年度の成人式が1月10日に大町市文化会館で開催されました。

美麻地区からは、令和2年度11人（全市326人）令和3年度10人（全市312人）の皆さんが、成人式の節目を迎えられました。

出席された皆さんは、久々の再会を喜び合い、近況を話したりと楽しいひと時を過ごされていました。

これからも、ふるさと美麻との絆を紡ぎながら、元気にご活躍ください。



写真提供 出席者

～成人式出席者からの一言～

令和2年度（平成27年度美麻小中卒業生）

令和2年度の成人式は新型コロナウイルス感染症の影響により3度の延期を経て開催がされました。この状況の中で、私たちの一生に一度のイベントである成人式を開催して下さったことに感謝でいっぱいです。当日は成人のみんなの楽しそうな姿を見ることができて、嬉しい気持ちになり、開催できたことの喜びを感じました。また同時にこの状況での開催だからこそ、成人式の大切さや大人としての自覚をより感じることができました。

北沢 真寛（新行）

コロナ禍でなかなか会えなかった友人たちと顔を合わせて成人式を迎えたこと、本当に嬉しく思います。成人式にあたりご尽力をいただいた皆様に心より感謝申し上げます。 保科 貴太（大塩）

コロナ禍にも関わらず成人式を開催していただき感謝の気持ちでいっぱいです。これからは大人としての自覚を持ち生活していこうと思います。地域の皆様ありがとうございました。

ウェバー 伊織（千見）



美麻地区・八坂地区合同での記念撮影

令和3年度（平成28年度美麻小中卒業生）

この度は成人をお祝いして下さった皆さん、本当にありがとうございました。無事に成人式を迎えられたこと、そして友人らと笑顔でお祝いができたこと、この上なく嬉しく感じています。当たり前は当たり前では無いことを痛感する毎日ですが、日々を笑顔で暮らせることに感謝をし、様々な経験を積めるよう、これからも精進していきます。

安松 鈴葉（青貝）

人が集まるのが難しいコロナ禍で、延期になっていた成人式に参加することができてよかったです。また、成人式を機会に普段会っていなかった友達に再会することができ、とても貴重な時間となりました。まだまだ未熟ではありますが地域の皆さんのお役にたてるよう頑張りたいです。周りの皆さんのおかげで20歳を迎えることができたと思っています。本当にありがとうございました。

北村 祐風（二重）

本当に久しぶりに美麻のみんなに会えて良かったです！5年以上違う環境で過ごしてきたのに話すと変わっていない友人に安心したし、終始タイムスリップしているかのようで心地よく、幸せな気分でした。

みんなのスーツや振袖姿が見られたのも嬉しかったです。成人式で会えた人も都合がつかなくて会えなかった人も、また近いうちにどこかで会いましょう！

間藤 恵志（大塩）

免許のない世界を体験して、暮らしやすい美麻地区をつくろう!!

もしも、免許がなかったら？

美麻地区の生活と困りごとアンケートで、「車が運転できないと生活できない」という意見が多くあったことを受け、昨年11月から、20人以上の参加いただき、買い物を中心としたタスカル美麻（移動支援実証実験）※1を実施しています。

この事業は、今年から始まる「小さな拠点」事業の重点プロジェクトとして、多くの皆さんから意見をいただきながら、美麻地区の新しい生活スタイルを地域の皆さんと一緒に作りたいと考えていますので、実験に参加いただける方を募集しています。



実証実験



参加者募集



運行日

月曜日又は火曜日
の午前2時間程度
(自治会単位で運行)

乗車場所

行き▶ 集落内
帰り▶ 自宅周辺

補償

自動車が入っている任意保険の範囲での補償となります。

募集

運転ボランティア

要件

- 運転免許のある方
- おおむね70歳以下の方

役割

- 自動車の運転 (オートマチック普通車)
- 荷物運びの手伝い

募集

参加者 (体験利用者：年齢不問)

要件

- 車の乗り降りができる方
- 買い物と支払いができる方
- 免許の返納を考えている方
- ※お子さんの利用時は保護者の同意が必要です。

役割

利用の感想、改善点を教えてください。

費用

ガソリン代等の実費
※実績は1回400円程度でした。



募集

添乗ボランティア

要件

18歳以上の方

役割

- 自動車乗降時の見守り
- 買い物の手伝い
- ※お金は取り扱いません。
- 荷物運びの手伝い

参加者の声



添乗ボランティア (40代)

幅広い年代の方が利用すれば、地域の皆さんのコミュニケーションの場にもなると思いました。



運転ボランティア (60代)

市民バスより時間が有効に使えるし、バス停まで距離のある人に、家の近くまで迎えに行くと喜ばれました。



参加者 (利用者) (70代)

品物を自分で見て買いたいのでありがたいです。最近では外出機会が少ないので、出かけることで息抜きもできます。



参加者 (利用者) (10代)

家の人の都合が悪くても、部活に行くことができ良かった。乗りやすくてすごく助かりました。

詳しくは、お問合せください。

—お問合せ・お申込み—

美麻地域づくり会議 事務局 (電話29-2311)

※1 タスカル美麻事業は、「無償運送」として〔道路運送法における許可又は登録を要しない運送の態様について（国自旅第328号令和2年3月31日）〕に基づき実施しています。 ※2 運転と添乗は有償ボランティアとなります。

連載 **美麻の口碑伝説** 十一
大町美麻の里づくり協議会
 ～語り継ぐ郷土の心～

おなる淵の河童

かっぱ

(今回は、千見の話)

青貝から千見へ通じる道端に、桑ノ木沢というところがあって、道路に沿った川（土尻川）に「おなる淵」と呼ばれる淵があり河童がでた。昔、ある百姓が淵の近くに馬をつないで草刈をしていたら、河童が出てきて、馬の「尻のこ」を抜こうとした。馬が驚いて川から飛び上がった。そのはずみに河童の腕が抜けてしまった。馬は河童の腕を尻につけたまま、一目散に家へ帰ってしまった。

河童は、仕方なくその家に腕をもらいに行った。「どうか是非、腕を返してください。その代り、この村で生まれた子供は頭に窪みがある間は、決して川でけがはさせませんから。」と再三頼んだ。百姓は、馬の尻から腕を抜くと、その腕を河童に返してやった。それで、この集落の子供は、他の地域と比べて、頭がよけいに窪んでいるとのことだ。

(北安曇郡郷土誌稿・美麻村誌より)



テレビ番組で放送されました

～薪ストーブ&薪ボイラーで活かす美麻の木質資源～



SBC信越放送「エコロジー最前線」1月29日（土）放送番組で、当会が行っている美麻地区の木材を薪にして薪ストーブや薪ボイラーに活用し、身近な森林資源を地域で使っていくための取り組みが紹介されました。建築材や合板などに活用できず、大型トラックで遠方へ搬出されるC材の活用について、山からの伐採、薪づくりの様子、薪ボイラーでの使用状況などが簡潔にわかりやすく説明されていました。楽しそうな作業風景や代表の渡辺をはじめ、会員のインタビューも盛り込まれ、できるところから木材の地産地消の活動を広めていきたいという会員の熱い思いが伝わってきました。

活動にご興味のある方は、事務局：美麻ベ-

カリ-吉本(☎29-2970)まで。連絡お待ちしています。

(美麻地域のエネルギーを考える会)



新しい交通手段を視察（12/20 先進地視察）

上田市の豊殿（ほうでん）地区で、住民の運営による交通手段として「豊殿お助け福祉車」という事業がスタートしたとのことで、地域づくり会議の視察に参加してきました。

現在、美麻地区で運行している移動支援サービスの実証実験に参考になればと思います。

豊殿地区では循環バス需要が減ったため、住民で作る運営委員会が発足して、16自治会1500戸が年会費1000円を負担し、自宅から目的地までを軽自動車で移動を支援しています。

また、福祉車の事務所でもある「ふれあいサロンひなたぼっこ」には、20名程の方々がボランティア登録されており、スタッフとして通われていました。定期的にこども食堂も

開催されていて、こどもたちからお年寄りまで利用する地域のサロンとして活気がある様子でした。

長年、福祉についての勉強会や活動を続けてきている宝殿地区は「福祉」というテーマが地域に根付いている風土を感じました。

（花まめや 鈴木 幸）



豊殿地区で使用している車両（写真右）。無償運送方式で実施している事例は全国的にも数少ないため、具体的なノウハウを聞く貴重な機会となりました。

定住促進住宅の内覧会を開催

二重・宮村地区に建設している定住促進住宅（3棟）の内覧会を1月22日に開催しました。内覧会は、大町市の新型コロナウイルス感染警戒レベルが5となったことに伴い、予約制として現地での案内の他「zoom」を使用したりリモートでの内覧も行いました。

見学された方からは、住宅に関する質問の他に、地元の活動や自治会に関する質問が多く寄せられました。

2月下旬に入居者選考委員会により新たな入居者3組が決定し、3月より入居が始まる予定となります。（美麻支所産業建設係）

地域づくり事業提案募集

美麻地域づくり会議では、会員の皆様から地域のためにやってみたい事や支援、協力をして欲しいことを募集します。

美麻地区が活性化し元気な地域になるような提案のある方は3月10日（木）までに別紙の用紙へご記入していただき事務局まで提出して下さい。

美麻地区連合自治会からのお知らせ

新型コロナウイルス感染警戒レベルが5となり、感染防止対策のため予定をしていた美麻地区連合自治会総会は中止となり書面決議を実施しました。

■美麻地区連合自治会（兼美麻地区防犯協会） 定期総会書面議決報告

集計年月日 令和4年2月9日

集計場所 大町市美麻支所

会員総数 11人

書面議決提出者 11人

すべての報告、議案について全員の賛成により可決されました。

■令和4年度美麻地区連合自治会役員 （自治会長5人の互選により選出）

| | | | |
|------|----|----|------|
| 会 長 | 傘木 | 則興 | （千見） |
| 副会長 | 小林 | 稔 | （二重） |
| 常任委員 | 和田 | 重信 | （新行） |
| 監 事 | 伊藤 | 稔 | （青具） |
| 監 事 | 田邊 | 勇 | （大塩） |

■ 編集・発行 美麻地域づくり会議

住所 大町市美麻11810-イ 電話29-2311 FAX29-2333 ・ 電子メール info@miasa.info